



We
Serve
〈真心こめて ウィ・サーブ〉

四国

ライオンズクラブ国際協会336-A地区 地区誌 1・2・3月

第109号
令和2年3月31日発行





就任から9ヶ月 絆深めた日々

ライオンズクラブ国際協会336-A 地区ガバナー 高岡 英治 (松山湯築)

2019年7月4日～7月9日イタリアミラノで開催された国際大会で責任の重大さを感じながら地区ガバナーに就任しました。

以来9ヶ月、月日の過ぎる速さを感じての日々を送っております。今日までに公式訪問、周年記念式典、新会員入会式(3名以上)、ガバナー協議会、合同例会、YCEキャンプ開村式など、さまざまな地へ訪れる機会を与えられ、地域独自の催しに多くの貴重な体験をさせていただきました。逸話の毛利元就の3本の矢を思い出し、会員1人では小さな力、しかし3人よれば強くなり多くのことが出来ることを実感致しました。各地区の委員会主導のセミナーも多く開催されています。その一つ糖尿病セミナーはライオンズクラブ活動の重要なセミナーです。日本にとって糖尿病は国民病とも言われ、その医療費は大きな負担です。バランスのとれた食生活と適度な運動で予防出来る疾患だけにセミナーで正しい知識を身につけていただくよう啓発活動が望まれます。

LCIFセミナーには多くの会員が参加し、国際財団の交付金の拠出について学びました。ライオンズクラブが地域で実施している人道的活動に交付金を拠出し活動のサポートをしてくれます。その活動の重点目標は、視力保護、小児ガン、食糧支援、環境保全、糖尿病です。他にアラートセミナー、全日本FWTセミナーなど実施され、重要な教育の場で奉仕活動の貴重な情報源です。

高齢化、少子化、コロナウイルス感染など私たちを取り巻く環境は厳しいものがあります。私たちに出来ることはまだあるし、社会貢献出来る機会を活かしお互いにウィ・サーブを実践致しましょう。

私は今、充実の時、支援いただいている四国四県の会員の皆様に感謝し、お答えすべく全力で努力致す所存です。奉仕の夢は限りなく好奇心を持って優しく、忠実に実現のための更なる一歩を踏み出します。



9名のリジョン・チェアパーソンの熱い思いを受けとめ…ガバナーズ・アワード最終選考会を終える(3/2日)

We Serve CONTENTS

- | | | |
|---|-------------------|----------------------|
| 2 地区ガバナー所感 | 6 YCE冬期キャンプ | 29 寄稿 ライオンズの「学問のススメ」 |
| 3 ガバナーズ・アワード選考会レポート
ヘアドネーションⓉ外貨寄贈のお礼 | 8 糖尿病セミナー報告 | 30 地区年次大会 現況(3/15) |
| 4 第3回キャビネット会議 高知レポート | 9 おらがクラブ自慢 | 31 物故会員紹介 |
| 5 LCIFキャンペーン100の取り組み報告 | 25 周年事業・式典紹介 | 32 336複合地区年次大会 高知大会 |
| | 28 4R合同街頭パレードへの思い | |

写真：春の大洲城(愛媛県)

2019~
2020年度

ガバナーズ・アワード 最終選考会開く

レポート／キャビネット副幹事・MC担当 新開 千富美(松山つばき)

2020年3月2日(土) 13時30分より、いよてつ会館にて、高岡地区ガバナーズ、澤田キャビネット幹事、兵頭キャビネット会計、キャビネット副幹事、リジョン・チェアパーソン、地区委員長が出席してアワード最終選考会が開催された。

最初に地区ガバナーズより、クラブの努力を認め多くの賞を贈りたい旨のお話と、選考基準は、金額、人数のみを評価するのではなく、地域への貢献度や自身の濃い奉仕活動を優先してほしいとの説明の後、地区委

員長より各リジョン会議で報告されてきた、受賞候補の確認があり、リジョン・チェアパーソンより是非この活動を推してほしい等、活発な意見が発表された。

キャビネット主管のアワードについては、ガバナーズより、アワードは、クラブ活性化の一助となる一年の締め括りである。1年間頑張ったクラブには、是非差し上げたいとのこと、各リジョン・チェアパーソンのアピールも最高潮に達し選考会を終了した。

選考会に出席して感じたことは、自分たちのクラブの活動内容をよく把握し、どの事業が、アワード授与基準に当てはまるか、吟味して申請書を提出することが大切だと思った。コロナウィルスが気になり、遠路ご出席くださった役員の皆様も、会議終了後、足早に岐路に着かれました。

小児がんのお子さんのための外貨収集

ライオンズクラブ国際協会336・A FWTコーディネーター 村井 淳子(松山つばき)

FWT(家族及び女性チーム)コーディネーターを拝命して2年目の活動です。1年目は小児ガン患者のウィッグを作るヘアドネーションを会

員の皆さんに依頼し成果をあげました。今期はヘアドネーションも継続し、引き出しに眠っている外貨(紙幣とコイン)を収集する事になりました。公式訪問、キャビネット会議、リジョン会議、諮問委員会呼びかけたところ驚く程集まったのです。コインを交換するのに手数料が掛かりますので計算額とは誤差が生じま

すが、596,642円になりました。外貨収集の目的は小児ガンの施設に寄付するのが目的です。

共鳴して下さったのは多くのクラブでした。暖かいお心に感激し胸が熱くなりました。特に4Rの藤川リジョン・チェアパーソンの奮闘ぶりには驚きました。4R独自の封筒を作り22クラブに配布し、22すべてのクラブが協力して下さったのです。重いコインを二度に分けてスーツケースで松山キャビネットへ持って来て下さったのです。コインを交換す

るのに手数料が掛かりますが、計算した総合計596,642円の内、4Rの合計は277,445円でした。

私の呼びかけに協力して下さった会員の皆様に感謝致します。小児ガんで悩むお子さんに笑顔が戻る日を楽しみに活動を続けたいと思います。真のウィ・サーブです。



11月3日、第2回キャビネット会議会場へ重い、おも〜い外貨コインの袋を持参した笑顔に感謝、感謝です。



ガバナーズ・アワード キャビネット選考会

2019~
2020年度

ライオンズクラブ国際協会336・A地区

第3回キャビネット会議(高知)を終えて――

レポート MC・ライオンズ情報・地区誌・大会参加委員会 委員長 友石晃由(松山ホスト)

2020年2月2日(日)13時30分より高知市、高知プリンスホテルにて高岡地区ガバナーをはじめ62名のキャビネット役員とオブザーバーとして次期高知キャビネット予定者20名の参加のもと、第3回キャビネット会議が開催されました。

高岡地区ガバナー、橋本336複合地区ガバナー協議会議長、関野前地区ガバナー・地区名誉顧問会議長、酒井第一副地区ガバナー、蔵本第二副地区ガバナー、真鍋G M T・G L Tコーディネーター、川辺G S Tコーディネーター、村井F W Tコーディネーターの挨拶のあと、澤田幹事よりシンガポールでの第103回ライオンズクラブ国際大会と酒井次期大会参加委員長予定者より、336複合地区年次大会のご案内がありました。

審議事項は2020～2021年度地区ガバナー立候補予定者、第一副地区ガバ

ナー立候補予定者、第二副地区ガバナー立候補予定者承認のため審議が行われました。

続いて336・A地区次期第66回地区年次大会関連議案が承認されました。ただ、2019～2020年度各種会計中間報告では、前キャビネットからの引継金が返済不足額の為、質問が多く出て紛糾したため時間がなくなり地区役員報告はなくなりました。年次大会までには、決算が出来る状況にする事により、質疑は終了いたしました。次期キャビネット事務局は、高知プリンスホテルに設置されましたので、次年度へのスムーズなバトンタッチを願い閉会いたしました。



LCIF「キャンペーン100 奉仕に力を」

336-A地区の取り組み

リジョンごとのチャリティボウリング大会を実施

1RC 壽野 春幸(砥部)

ライオンズクラブ国際財団(LCIF)は誇りを持って、「キャンペーン100 奉仕に力を」の実施を発表致しました。このキャンペーンは、ライオンズの1世紀にわたる奉仕を祈念するとともに、次の100年、さらにはそれ以降に向けた取り組みを支援しようとするものです。

1リジョンでは、『LCIFキャンペーン100 1Rチャリティボウリング大会』を多くの参加者のもと盛大に実施することができました。LCIFへの寄付金につきましても、1リジョンのクラブが賛同していただき奉仕支援ができました。ご協力をお願いいただいたクラブの皆様、心より感謝申し上げます。この大会を通じ1リジョンのクラブの皆様の交流と親睦がより一層深

まり今後奉仕強化をするうえでも本当に良い大会となりました。大変お忙しい中参加をしていただいたクラブの皆様本当にありがとうございました。

結びに、ライオンズクラブの益々の発展と、会員の皆様のご健康ご多幸を心からご祈念致しましてお礼の御挨拶とさせていただきます。



1 たのしくウィ・サーブ!!
R・実施日：1月26日・18LC
・57名・寄附合計 363,500円



2 2R親善ボウリング大会
R・実施日：1月26日・17LC
・67名・寄附合計 136,000円



6 (6R・7R合同)元気に開催!!
R・実施日：2月29日・38名
・寄附合計 78,000円



7 (6R・7R合同)賑やかに楽しく
R・実施日：2月29日・8LC
・29名・寄附合計 71,000円



9 若い頃を思い出しながら歓声を
R・実施日：11月30日・9LC
・30名・寄附合計 69,978円

ライオンズクラブ国際協会 336複合地区合同ウィンターキャンプ

YCE 2019 ~2020 Winter Camp

冬期キャンプ 報告

レオクラブ生の笑顔の交流に感謝

YCE・ライオンズレオ・国際関係委員長 大野 健夫(松山南)

12月21日(土)～23日(月)、複合336内の4準地区合同でYCE冬期キャンプを実施しました。8名の来日生(イタリア・スロベニア・マレーシア各1名・東マレーシア5名)と岡山地区のレオクラブ生19名の参加です。

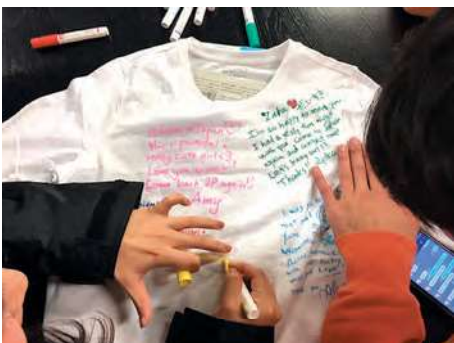
JR岡山駅では高岡地区ガバナーにお見送りをいただき、送迎バスで宿泊先の新見千屋温泉いぶきの里へと向かいました。

緊張気味の開村式終了後は、高校生による歓迎アトラクションの荒神神楽を楽しみ、そして温泉宿らしい気配りの行き届いた夕食も堪能しました。それぞれに入浴を済ませた後は、夏も参加をいただいたレオ生による趣向を凝らしたゲームなどで楽しく過ごし、又、来日生の1人はパソコンで自国の紹介をする等、異文化を知る有意義な時間も過ごせたようでした。

翌日は、キャンプのメインイベントであるスキー体験です。暖冬で数日前に人工雪を降雪させただけのゲレンデでしたが、スキーの達者なスロベニア生が初めての東マレーシア生を教えるなど、和気あいあいのゲレンデでした。

最終日の朝は近くの釣り堀でヤマメ釣りを楽しみ、釣り上げた魚は塩焼きや天ぷらにしますが、ペロリと平らげ皆な満足顔でした。宿へ戻り、昼前の閉村式でキャンプは無事終了しました。

僅か3日間のキャンプ日程で、皆な物足りなさを感じたかもしれませんが、レオ生からは記念のお土産として、純白のTシャツにカラーペンでそれぞれの想いを寄せ書きしたものや、来日生の名前を彫った印鑑を贈るなど、小さな国際交流を嬉しく思いました。



写真はレオ生の寄せ書きTシャツ
さらに来日生の名前を彫った印鑑
がプレゼントされた。



み~んな笑顔…が嬉しい!



高校生の歓迎アトラクション荒神神楽



8R合同糖尿病セミナー 糖尿病から考える生活習慣病対策

「糖尿病対策は大人も子どもも」

8RCC 片山 毅(阿南)

令和元年11月30日(土)阿波観光ホテルで、8R合同糖尿病セミナーを開催しました。高岡地区ガバナーの重点事業で、GSTCオーディネーター川辺元地区ガバナー名譽顧問が8Rでもあり、地区内最初のセミナー開催となりました。

新規の合同事業で、準備期間も1ヶ月余りの中のスタート。「どうしようか?」でなく「開催する。」方向で、地区役員・委員と協議を重ね準備。開催時期も年度内から年内への要請もあり、当初予定していた「第2回ガバナー諮問委員会」開催日の午前中に設定。コンセプトを「知ろう、糖尿病を。考えよう、糖尿病予防を。」として企画内容を協議しました。講師には徳島城山LCメンバーの医師 齋藤博彦先生に快諾をいただき一先ず安心はしたものの、課題は予算と参加者への告知と動員でした。

に糖尿病セミナー企画を提案し、各クラブにも案内してチャリティーゴルフ基金の一部を糖尿病セミナーに充当、残りはLCIFへ献金することにしました。

対象はライオンズ会員だけでなく、予防の観点で特に幼少期の生活習慣が重要なので、子育て世代へ案内しました。参加できなくても「ライオンズクラブ活動の紹介・糖尿病への理解」を伝えるため、徳島市内の幼稚園にチラシを配布。参加者集計にQRコードを記載しましたが、結果的には十分な成果を上げることができませんでした。本来ならチラシ配布も各幼稚園に足を運び主旨を伝え、参加要請すべきと反省しております。

合同セミナーを終えあらためて、各クラブのご理解と地区役員・委員の皆様へ感謝申し上げます。ありがとうございました。



当日の運営は、地区役員・委員を中心に行った。冒頭にDVDでLCIF活動を紹介。参加者には「まるごと糖尿病」冊子を配布した。



We Serve

おらがクラブを自画自賛

クラブ自慢

さあ~どうぞ!!
124LC

いいね😊を見つけて

クラブの活力源に...どうぞ♡♡♡

1Region

松山ホストLC 我がクラブの目標

釣り好きな方が多いと言うこともあり、親睦を深める目的で、釣りクラブを運営しております。年間を通じて不定期に船釣りを行っております。季節に合わせて、太刀魚や鯛、メバルなど魚はさまざまですが、メンバーは、年々釣りのスキルが上達してきており、釣りを楽しみながら、例会以外の交流により、メンバー間の親睦を深め合っております。



松山つばきLC 国際交流事業

毎年、愛媛大学や東雲大学の留学生を招いて日本の文化を体験してもらっています。今年は6か国13人の参加。晴光院ご住職の指導で坐禅、奥様が茶道・生け花と多彩です。

一番の楽しみは日本の着物。みんなに着ていただき大はしゃぎ。会員も着付けに大奮闘。お土産に自分の着た着物を差し上げると、大歓声！会員からたくさんの着物の寄付をいただき、留学生も日本での素晴らしい思い出とお土産をgetできました。



松山東LC スポーツのチカラで、絆はぐくむ

スポーツによる青少年育成に力を入れています。松山市小中学校相撲大会は、28年間の共催を、少年サッカー・U・10大会では、34年間の主催開催。今年のサッカー大会では、小学生高学年の女子チームとエキシビジョンマッチで対戦！

1・2の熱戦で：惜敗、立っているだけで倒れそうな暑さの中、よく走り、よく転ぶ雄姿に大笑いと大感動で、サッカーキッズとメンバーの絆も深まりました。



松山城山LC 青少年育成「番傘アート」

青少年が、地域の文化及び社会貢献に参加する目的で、2006年より実施しております「番傘アート」。

松山城に寄付した番傘は、おもてなしとして市民や観光客の、雨よけ日よけとなっており、自由になります。自由に楽しく書いた図柄は、人々を和ませております。



砥部LC 会報で地域と

「コミュニケーション」18年前、年4回の折込みでMC化に転換。前回の活動報告、協力のお礼とその成果。裏面で次回の活動案内と協力呼びかけ。すべての事業主旨、目的、意義を簡潔に。

写真は参加者主体で構成。5年前、イベント会場アンケートで70%以上の方がライオンズ活動を知っており、30%の方の家族が砥部LCの活動に関わっていることを知りました。



写真 草刈清掃のサマーボランティア15団体と会員「きれいにするんジャー」

松山道後LC みかん狩りで被災地に元気を贈る

結成から支援している松山少年少女合唱団、松山手をつなぐ育成会、障害者支援施設の方々、クラブ会員、其々の家族や友人達と、地域婦人会の皆様による猪汁や芋炊き等のお接待を受けながら、楽しく収穫したみかんと笑顔を被災地に届けるアクティビティを続けており、各地から届く返礼状に私達もまた、笑顔と元気を頂いています。



伊予LCライオンズサントラのクリスマスプレゼント

初めての試みで伊予市内の保育所・幼稚園8か所（園児約300名）にサントラクリスマスプレゼントを届けに訪問しました。突然のサンタに子どもたちは大喜びで、こちらも「愛顔」のひと時となりました。（実施日2019年12月17日（火）～25日（水））



松山西LC

我がクラブは、Lineグループでの交流、ゴルフ同好会での活動、都度、懇親の場を設けて、横の繋がりを強めております。会員増強活動の一環として、三津浜花火大会を鑑賞する会員交流会も開きました。若手、ベテランが手を取り合っただけでなく、有意義な奉仕を行えるクラブを目指しています。



松前LC松前LCメンバーの人間性

伊予郡松前町を拠点とする結成42年の歴史あるクラブで、現在会員数は25名と少数です。少数であるこそその持ち味や強みを活かしたクラブ運営。25名すべての会員の人柄や前進思想が自慢です。今後もクラブ一体となり、地域に根付いた活動を行っていきます。



松山北LC5施設の子供たちと愛大留學生で地引網

「ヨシシヨ、ヨシシヨ」の掛け声が始まった。今年、松山、今治の養護施設5カ所から160人と、愛媛大学の留學生があつまつた。留學生は、巨大な赤いタイに驚き、写メって、母国にラインする姿に、胸が熱くなる。子供たちも初体験を心から楽しんでいくようだ。また、会員と一緒に海岸のプラゴミ清掃作業を行い、綺麗な海岸になった。帰りのバスでは、子供達、留學生、メンバーともども「来年も会おうね」と大きな声で、手を振りあい



松山湯築LC16期目の松山湯築ライオンズ

他のクラブの方からよく「いいね」をいただく活動が「外国人による日本語弁論大会」です。小学生から大人まで、多国籍の方々の弁論を我々も楽しみにしています。他にも、各委員会で様々な活動がありますが、入会歴に関係なく意見を発言できます。風通しのよいクラブです。



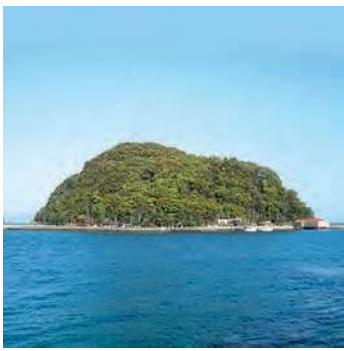
松山城東LC

我がクラブは、リジョン内でいちにを争う少人数のクラブでしたが昨年、新入会員と多数の転籍会員が加わり、少しにぎやかになりました。例会では、席は毎回くじ引きで決めており会員同士のコミュニケーションがうまくいっている。最和気あいあいとした、アットホームでいい雰囲気なクラブと自負しています。



北条LC風早の中世の城跡に点灯標示を

河野氏を語らずして伊予の中世は語れない。150年間を北条、後250年間を道後湯築城あわせて400年の間、伊予の守護職として活躍。北条地域には20数カ所の城跡があり、中世の城下町を物語る。現在も地元の方々が城主の遺徳を偲び、お祭りや草刈り掃除を続け、大切に守っている。これら文化遺産を後世に伝えたい思いで「点灯標示」設置を検討中です。災害時の方向・方角の指標にも役立つと願っている。



松山中央LC

小児糖尿病支援サマーキャンプでのアクティビティ。常に新たなアクティビティを模索している我がクラブが3年前から始めたのが「小児糖尿病支援サマーキャンプ」での「バーベキュー大会」。今年は8月11日炎天下の中、伊方町で会員とその家族、学生ボランティアがお手伝い。肉20キロと140人分の野菜を前に糖尿病と闘う子供達の笑顔が弾けていました。



2Region

です。引き続きアクティビティを立ち上げたい誇るべき先輩方に敬意と感謝の気持ちです。未来永劫継続したい誇るべきアクティビティです。



新居浜LC 30年連続「英語スピーチコンテスト」
市内の中学生の語学力向上を目的に教育委員会及び市内の中学校に働きかけて始めた中学生英語スピーチコンテストが本年度30回目を迎えました。この事業を立ち上げ継続してきた先輩方に敬意と感謝の気持ちです。未来永劫継続したい誇るべきアクティビティです。



新居浜中央LC ミレニアム花壇苗植替え作業
11月例会に新居浜の中萩小学校4年生の児童と共に花壇の苗の植替え作業を行っています。花壇の名前通り2000年に小学校、近くの河川敷に花壇贈呈をし、その後毎年、苗の植替えをしています。児童、地域の皆様にも喜んでもらっています。



松山南LC 全国南LC 友好会を毎年開催
1978年に当クラブの有志が全国の南LCに呼びかけ、地域的に特徴のあるクラブの奉仕活動や事業内容を公開しあい他クラブの活動を吸収して、クラブの更なる発展を目指すことを目的に全国南LC 友好会を結成。毎年大会が開催され、現在は北海道から鹿児島までの21クラブ。2018年の第39回大会では、松山南LCが2回目のホストクラブとなり盛大に開催されました。



松山金亀LC 「自画自賛」
何ととっても会員同士の仲の良さ、クラブ内の風通しの良さ、これに尽きると存じます。公式訪問や諮問委員会においても、繰り返し自画自賛させていただきました。336・A地区で一番仲の良い、美しい調和のとれたクラブであると自負しております。この金亀の伝統は永久に不滅です！



新居浜別子LC 新春参拝例会
いつもとは少し違う新しい例会として、新春参拝例会を行いました。一宮神社本殿にて参拝祈願の後、社務所で例会を行い、普段より少し豪華な昼食を会員皆でいただきました。気持ち新たに、日々のライオンズ活動に進んでいきます！



松山白鷺LC We Love 石山川河川大清掃
800名規模でクラブ創設以来27年連続実施中。起震車、煙ロープ渡りを体験。防災啓発同時開催。
【楽しく走ろう！
これで君も
ヒーロー！】
ニンジニアスタジアムで小学生1〜3年対象のかけっこ教室開催。タイムを計ってアスリート気分。



新居浜ひうちLC 女子力バネにWe Serve!
女性会員の増加とともに「女子力向上」が進んでおります。定期的に女子会を開催し、会員同士親睦を深め、生き活きたクラブ運営と新たな女性会員の増強につなげております。そして来期は女性会長のもと創立25周年を迎え、ますます女子力を上げて盛り上げていきます。



松山センチュリーLC スポンジのような吸収力
4年目の若いクラブ。だからこそできる！良いと思えることを素直に吸収することが。初めは勝手も分らず受動的に活動していた奉仕。だが今では委員長を中心に積極的な活動ができるようになりました。奉仕を通じ、会員同士の絆を含め、世に役立つために我々は日々イノベーションし、最高のクラブを目指します。

今治LC 今治城天守閣に展望パネル設置

我々クラブの奉仕の拠点でもある吹揚公園内の今治城天守閣に4回目の展望写真を設置、3回目の設置から15年、景観の変化もあり交換を計画、実際の景観を見ながら比較出来る展望パネルを天守閣の外構へ設置しました。併せて吹揚公園広場に木製ベンチ5基も贈呈致しました。



今治中央LC わくわく実験教室

青少年健全育成事業の一環として市内小学校児童を対象に11月23日実施した。自然環境を学び最後に全員で自然風力発電装置を組み立て完成させた。講師は「愛媛の授業の鉄人」と呼ばれる村上圭司先生指導の下、自然エネルギーの大切さを興味深く熱心に学んだ。児童たちの小さな夢よ、大きく育め!!



今治東LC 劇団投入で「ダメ、ゼッタイ!」

今期18校、1,212名の生徒に実施する薬物乱用防止教室。毎回10名程の参加で、青少年の健全育成に努めています。特に印象に残る教室にするため、会長自らかぶり物を愛用し、様々なキャラクターに扮し、生徒の参加型寸劇を展開。講師の内容はもちろん、劇団員の質も向上し参加メンバーも増加中です。



今治くるしまLC 会報誌になんと袋とじページ!

MC委員会が作っている広報誌の昨年10月号に、なんと!「袋とじ」が登場!写真?のような感じで:内容は真面目なものやっただんですが、なんかふざけてますよねー。「袋とじ」ということで、なかドキドキしながら開けて見た人も多かったとか。で、本文はLION誌1月号に載っているそうなので、ご覧下さいね。



伊予三島LC 自慢の「新鮮湧刺温泉巡り同好会」

温泉巡り同好会では、美人の篠原順子会長のもと、多くのメンバーが「次の温泉はどこに行くんじや!」「今度は、何をたべさせてくれるんじやろう!」「どんな隠し芸があるんじやろうか!」と興味津々、参加意欲満々でございます。クラブづくりは会員同志の親睦から始まるといわれていて、これがよくわかります。



川之江LC 少年少女スポーツ大会

小学3〜6年生、約80名の参加で野球大会を行いました。愛媛国体で使用した浜公園野球場の電光掲示板を使用し、父母のアナウンスで選手紹介、手作り感満載です。白熱の試合が終わり、次の試合までに用意の**カラーライ**スで親子共に英気を養い次戦に臨みます。地元テレビ局の撮影もあり、後日放映されるので、親子の絆の一助になる大会になればと思っております。



伊予十居LC 楽しくなければ例会じゃない!

全員に例会出席してもらうため第二例会に「楽しい例会タイム」を作りました。ライオンズや様々なジャンルのクイズを、パワーポイントを駆使して愉快に楽しく問題をだし、正解者には当番メンバーから賞品が与えられます。例えば「国際協会の所在地は?」:意外と答えられないものですよ。



四国中央法皇LC 周年記念事業「みつまたの里」整備

諸先輩が築き上げて来た歴史を受け継いで今年40周年を迎えます。チャーターメンバーも次第に減少してきている現在ですが、自然相手の「みつまたの里」の実現に向けて多くの労力を注いでいます。結成30周年に始め、獣害や天候被害を乗り越え、今春クローバーを播種し更にパワーアップしていきます。





西条石鎚LCプロの音色に子供たちはウットリ
 プロのピアニストが定期的に学校を訪れ、子供たちにホンモノの音色を聞いてもらう。こんなアクティビティを続けているクラブは、珍しいのではないだろうか。演奏するのは、会員の高畑綾さん。パリの音楽院に留学し、当クラブに入会後は「生演奏を子供たちに」を合言葉に毎年市内の学校を回っています。

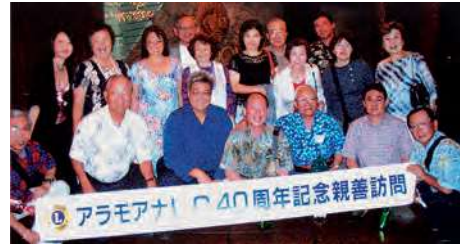
3Region

大洲LC初めての餅つきアクティビティ
 12月26日初めての取り組みとして、障がい者施設大洲ホームにて餅つき奉仕。小雨が降る中、石うすに杵を使つての餅つき、慣れている会員、この日初めて杵を持つ会員、明日は筋肉痛だ！の声も出るが、施設利用の皆さんには大変喜んで頂きました。



川之江中央LC
 第20回川之江中央ライオンズクラブ選抜少年柔道大会
 令和2年1月13日(月)。今年35チーム、234名の幼児から小学生が参加しました。青少年健全育成を目的として四国四県、岡山県、兵庫県から参加している柔道大会です。
 又、資金獲得として冊子広告と冊子販売を実施しています。

西条LC“あなたの笑顔が見たいから”
 来年、結成60周年を迎えクラブの自慢は「おもてなし」の心、「ありがとう」の気持ちを持って活動をしている事です。誰かの笑顔が見たいから、その想いで奉仕に邁進していきます。クラブ独自の人懐っこさが何十年前も前のYCE生や活動で出会った方々と交友が続いている所以であります。



姉妹提携先のアラモアナLCとの交流

東予LC笑顔で広げる国際交流の和
 今期は夏期・冬期2回に渡りYCE生を受け入れ。メンバーと共に約2週間交流を深めました！
 ライオンズ独自の交換留学制度で日本の西条の地域文化を体験してもらい、また地元密なかけがえのない2週間を体験したことでしよう！
 この素晴らしいおもてなし精神を持った我がクラブを：自画自賛！



宇和LC

明石寺清掃・高校への献血依頼・車椅子の寄贈の紹介
 会長を中核として横の繋がりをモットーに若い会員のアクセス活動に期待。昨年暮れの「60周年記念」行事も一丸となって盛り上げました。ウィ・サーブ精神の下、新しく地元「明石寺」四国遍路文化を継承すべく境内・参道清掃、難しかった地元高校での献血、新築の図書館へ車椅子・ブックカートの寄贈等に取り組みました。



明石寺の清掃活動に参加した、宇和LC・野村LC会員

内子LC

健全な青少年の育成と町づくり、地域の健康づくり
 健全な青少年の育成と町づくり、地域の健康づくり等に軸足を置いた活動を行っている。具体的には、青少年のスポーツ、野外活動の支援、文化活動の支援、国際交流の支援を行い、また、町の中心地に長年枝垂桜の並木を植樹、維持管理しており、献血活動等の健康支援とともに、町づくりを支えている。



伊予小松LC 団結と笑顔
 自慢は、軽ではあるがターボ付、初老ではあるが瞬発力バググンで持久力もまだまだ兼ね備えている。恕の精神でお互いを思いやり、毎年20ほどのアクティビティを実施。この活動を陰で支えてくれる家族がいる。何事にも団結と笑顔で邁進する最強のチームである。



野村LC「善行表彰」を続ける

ライオンズの誓い「友愛と相互理解」の精神の下、青少年育成活動として町内の小・中・高校生を対象に各学校の推選の中からクラブ選考の上、毎年1・2名を表彰。若い芽がライオンズ精神による表彰を励みに成人し友愛の心輝く社会人への成長を願い、これからも地域応援として続けます。



八幡浜LC勉強会「八幡浜の歴史を学ぼう」

情報PR委員会、初の事業として、八幡浜の歴史の勉強会を行いました。

八幡浜史談会の副会長井上憲久様を講師としてお招きし、江戸時代から明治にかけて行われた八幡浜の埋め立てをメインに、裏話も交えたお話で、大変ためになる勉強会となりました。



保内LCライオンレディ講師のお茶会開催

卒業を控えた保内中学3年生対象のお茶会を5年前より地元茶道部より引継ぎ、当クラブライオンレディが指導を行っております。日本の伝統文化である茶道の知識や体験を通して学んだことが、今後の人生に少しでも活かせてもらえたら、という強い思いを胸に指導にあたっていただいております。



八幡浜みなとLC第16回魚の絵コンテスト

今回で16回目を迎えた魚の絵コンテスト。市内の小学生から1,099作品の応募があり、審査会にて選ばれた56作品を表彰し、市民ギャラリーにて全作品を展示。

(審査会)
令和元年10月17日(木)
(全作品展示会)
令和元年12月7日(土)
15日(日)
(表彰式)
令和元年12月15日(日)



三瓶LC歌で元気になぐれ♪

今年も三瓶LC主催の「宮中雲子音楽祭」を開催。三瓶町出身の宮中雲子先生と22年前、町民の音楽祭をスタート。我がLCも明るく楽しくの下、地域アクティビティとしてサポート。唄の仲間が練習の成果発表会。少女合唱、コンクール、フェスティバルの部へとまさに音楽三昧。たのしい奉仕事業です。



宇和島LC楽しい夜間例会

年明けの新年会を兼ね、各ライオンの持ち寄った品をオークションして、親睦を深める1月の第2夜間例会を始め、4月はお花見、9月は月見、12月の忘年会といった年6回の夜間例会で、みんな仲良く楽しく活動出来る最高のクラブです。



伊方LC健康読本シリーズ発行(小冊子)

健康読本シリーズの伊方町内全戸配布は、日頃から取り組んでいる社会奉仕活動の1つで、町民の皆様健康増進の一助として活用していただけるよう毎年作成しています。

今般、第40号「がんの免疫療法と緩和療法」を発行し、伊方町へ贈呈しました。
(令和元年10月8日)



伊予吉田LC

安芸高田LCとの中学生スポーツ交流
1993年、青少年の健全育成を目的に当時の広島県安芸郡吉田町と愛媛県北宇和郡吉田町の両吉田中学校のスポーツ交流が始まった。サッカー、バレーボール、バスケットボール、野球など。同時に例会訪問し、両クラブの親睦を図っている。安芸高田市と宇和島市吉田町で交互に行い、今期は安芸高田市で開催した。(27年目)



高松東LC自慢は、会員増強です！
 昨年62名から87名になり、見事クラブ優秀賞を頂きました。そして今期の三役は全員なんと40代前半！ベテランと若手の融合で、400人規模の講演会や、留学生日帰り旅行など新たな取り組みを成功させました！みんなが会の存続のために1つになっています。



3月3日に第6回大会を開催、500人が参加。クラブ会員も一緒にプレーし、楽しい一日になりました。



八栗LC500人参加グラウンド・ゴルフ大会は、高齢者が気軽に楽しめるスポーツの普及が重要です。高齢者の健康・長寿に貢献しようと、当クラブ主催のグラウンド・ゴルフ大会を毎年開催。



南宇和LC「家族同伴忘年会」
 年末恒例の家族同伴忘年会を開催。正会員・家族会員そして愛南警察署の方々をお招きして、交流を深め、1年の苦勞を労った。また、ビンゴゲームや昨年解散した伊予長浜LCの元会長でありタレントの福村俊弘住職を招き、「脚下照顧(きゃっかしょうこ)」がテーマの講話と弾き語りライブで大いに盛り上がった。

鬼北LC「児童養護施設の子供たちと餅つき」
 結成以来、鬼北町にある児童養護施設の子供たちとの交流を続けています。12月末には、子供たちにお正月行事を楽しんでもらうと共に、明るく元気に新しい年を迎えられることを願って、会員と子供たちや職員の方々が、代わる代わる杵を振るい、餅つきを楽しみました。



4Region

高松LC 日本文化体験ワークショップ
 今期より新しいアクティビティとして、月一回程度、開催しています。外国人観光客を対象に「抹茶・折り紙・香」などで手軽な日本らしさの体験をしてもらっています。参加された皆様方の満足度も上々の様子、今後も継続・発展出来るようメンバー一同張り切っています。



東かがわLC 河津桜が春の風物詩に
 平成15年11月、40周年記念事業として市内湊川堤防600メートルに河津桜の幼木76本を植樹した。地元の銀行、自治会、福祉団体の皆様の協力の輪が広がり、桜の木は15年が経過して大きく成長、年を追って観桜客が増えてきた。JA香川県のカレンダー3月は湊川の桜の写真が採用された。



小豆島LC 家族と一緒に楽しい家族例会
 毎年夏休みとクリスマス前の年2回、家族例会を開催しています。美味しい料理とお酒で「楽々」、そして楽しいアトラクションで「わくわく」、さらに親子ゲームで「ドキドキ」と毎回正会員の4倍近い100名を超える参加で会員相互の「絆」をしっかりと確認し合う大切な例会です。



長尾LC
 四国霊場第88番結願所大窪寺おもてなし茶会と遍路道世界遺産登録署名活動
 令和元年11月23日(土) 勤労感謝の日
 「大窪寺おもてなし茶会」が鮮やかな紅葉の中、長尾LCが主催で長尾亀鶴会のご協力を頂き大窪寺境内で行われました。満願成就を願い、旅の疲れを癒す打ち止め霊場です。
 日本各地からお迎えしているお遍路さんに秋の紅葉と旅の疲れを癒して頂くことと抹茶とお菓子で接待。長い行列で300人が2時間で終了。同時に遍路道世界遺産登録署名活動もご協力頂きました。
 新しいアクティビティでしたが、天候も良く、大成功で有意義な奉仕活動となりました。



5Region

丸亀LC奉仕活動は地域と共に

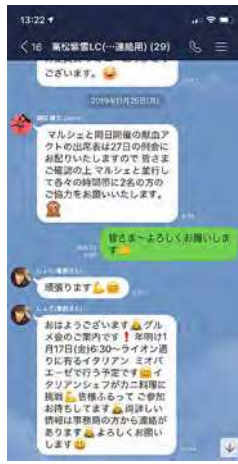
身体障害者とのふれあいボーリング大会・青少年の各種スポーツ大会等の奉仕活動開催時のモットーとして「共に活動する」を掲げております。写真はバレーボール大会時に少女チームと会員のガチ対決の様相です。我がクラブの自画自賛は「地域と共に活動」です。如何でしょうか。



高松グリーンLC
地域貢献を目的とした草刈り奉仕わがクラブは会員18名と少数です。身近な奉仕活動に力を注いでおり、まよりの良いクラブだと「自画自賛」。その奉仕は地域の公道などで草刈り活動を行っています。令和の時代も地域の手助けが出来るように頑張ります。

坂出LC

真夏のアクティビティ、サンライズカヌー 8月4日今年で22回目の当クラブ真夏のアクティビティ、サンライズカヌーは障害を持った子供たちにカヌーを楽しんでもらうため坂出カヌー協会の協力を得て毎年行われている活動です。最初怖がっていた子供たちは要領を覚えるのが早く、すごく楽しんでもらいました。



高松紫雲LC LINEで絆なを
クラブメンバーでスマホのLINEグループを2つ作り「事務連絡用LINE」では、例会、理事会の出欠確認、アクティビティの案内、参加メンバー呼びかけに、また「フリートークLINE」では自由に旅行中の写真、釣りの釣果自慢を投稿して、盛り上がっています。

坂出白峰LC

周年記念事業で学校を贈る国際奉仕を 40周年にはインドネシア共和国ロンボク島のレバセンパガ第一小学校、45周年はレバセンパガ第一小学校、50周年はペンケル第一小学校と、3校に校舎贈呈。次年度の55周年記念事業にも校舎を建築寄贈予定で計画を進めています。



高松空港LC「ときめきの森活動」 塩江の山に桜を植える活動を年2回ほどのペースで行っており、昨年の11月で14回目となりました。山奥に入り、竹や木の伐採、雑草の除去など肉体的にきつい奉仕作業ですが、終了後に山頂にて皆で食べるおにぎりは最高です。

綾歌郡LC環境改善事業

結成35周年記念事業として、早明浦ダム上流の高知県大川村へウバメガシを植樹して以来、毎年オイスカ四国研修センターの職員、研修生と一緒に除草作業を行っています。今期も、環境保全の一貫として11月4日に総勢18名で実施し、昼食はおいしいバーベキューで親睦を深めた。



高松北LC元気がいっぱい高松北ライオンズ 結成以来15年にわたり、青少年の健全育成を中心に奉仕活動を行ってきました。少人数ながら、会員間のコミュニケーションを大切に、結束力の強いクラブです。クラブを言葉で表現するなら、「一に奉仕、二に奉仕、三・四も奉仕、五に余興」。今後も力を合わせて頑張ります。



多度津LCC地元愛で絆を。
 2019年10月27日(日)小学校の運動場に筆を伸ばされた用紙(縦横約50メートル)に絵の具アートを楽しく、『絵の具で遊ぼう』に多度津ライオンズクラブも協力しました。地元出身のアーティスト、新宅百絵さん共々我々は多度津町が大好きです。(アクティビティの1つです)

す。今後は
 牡蠣焼きや
 うどん打ち
 例会なども
 企画中です。



三豊LCC お取り寄せ駅弁大会
 今年度の計画委員長の発案で例会の食事をいろいろなテーマで企画。写真は11月第二例会のお取り寄せ駅弁です。その他、香川の食物骨付鳥や中華料理など今までになかった食事で会員一同つぎは何か?と楽しんでおりま



こんぴらLCC グルメ同好会
 コミュニケーションの仲立ちには「食」です。メンバーにプロ級の釣り師(五島列島でのヒラマサ釣り)と美食家が出て、皆でアンコウを食したりと美味しい食事やお酒を楽しむながら語らう。心の新陳代謝といえる会員相互の交流を図り、あらゆる奉仕活動の活力の源です。
 釣ったど、今日も大物 きもちいいアンコウの 鍋で一杯 たまらねえ

観音寺中央LCC
 地域の未来を背負う青少年への郷土愛育成人口減少は社会問題、地方都市の当地も深刻で地域の活力が失われています。
 未来を背負う青少年への応援として、幼稚園児と一緒にさつまいも作り、餅つき大会、ピエロショーでの笑顔増進計画、キッズトライアスロン、サッカーへの支援と大好評のアクティビティを通して、ふるりの良さ、郷土愛の実体感を願い実施。
 笑顔いっぱい
 の彼らが、
 当地の未来を支える...と信じて。



丸亀京極LCC 東北被災地へうどんお接待!

11月13日~16日にかけて、会員11名が東日本大震災の被災地、宮城県亘理町と岩手県陸前高田市に行ってきました。亘理町は被災以来、通算4回目の訪問です。地元のボランティア協議会とのご縁で、私達のできることで温かいさぬきうどんをお接待させて頂き、喜んでもらっています。



坂出シニアLCC 『施設訪問』

日本のJAZZ SAXの神様といわれる、故松本英彦氏の片腕として活躍していたピアノist好井敏彦新入会を機に、JAZZピアノを核に、趣味の楽器演奏で施設訪問を開始。趣旨に賛同の他グループにも参加いただき、活動の幅と内容を広げた。
 3年前にはSAX歴50年の新会員を迎え、ジャンルは本格JAZZから童謡まで。演奏範囲も施設だけでなく、一般市民対象のライブ演奏も行っている。
 主に養護老人ホーム・ケアハウス・看護施設・障害児童施設等を、3カ月毎ローテーションで訪問。現在、ピアノ・SAX・ウクレレ・オカリナ・大正琴・フラダンス・紙芝居など。患者さんも演奏やフラダンスに加わり一体となった活動となっている。
 クラブのコンセプト「時間とキャリアを生かし奉仕活動」を地道に実践。



観音寺LCC 会員増強に取り組んで

令和元年12月4日に3名、続いて令和2年1月22日に7名の新会員入会式を行いました。会長をはじめ会則委員会のおかげで今年度は10名の会員が増えました。メンバーが増え、益々活気ある活動が期待できそうです。



善通寺LCC 『お月見例会』

2019年9月12日(木) 開催
 当クラブでは毎年、5Rの12クラブのメンバーと一緒に讃岐宮香川県護国神社にてお月見例会を行っています。まつたけが入った鍋を囲み、他クラブとの親睦を深める良い機会となっております。



6Region

高知LC楽しいLCは奥様の協力で創られる

我がクラブはとても夫婦仲が良く、夫人同伴例会はもとより婦人部会主催のアクティビティもあります。又毎年婦人部会の旅行には、逆にご主人同伴のご婦人もいます。こうしたお付き合いを通じた奥様のご理解が、安定したクラブ運営に寄与していると思います。



高知柏LC夏休みの工作 お宿題をやっつけろ!

長年支援してきた児童養護施設との交流で、工作キットの寄付と、一緒に作るお手伝いの要望があり、初めての事業です。科学的なキットには悪戦苦闘 笑 今どきのお宿題はレベルが高い!それでも2時間足らずの間に全員が完成し「今度はいつ来る?」「また来てよ」の声に見送られ施設を後にしました。



高知東LC「周年記念劇場」

祝宴の中で、VTR上映。当LCのホームページに「周年記念劇場」が有り、直ぐにわかります。6R・1Zの中では、かなり有名だろうと自画自賛の出来映え。普段、着ない時代劇用の着物とカツラ。そして、特殊メイク。一見、紳士に見える会員が、この撮影時は自分を忘れて童心に帰る芸人に変身。5年ごとの周年大会には、A地区6Rはもとより、遠路はるばる県外クラブからもお越し頂く皆さんの、心に残るアトラクションとなっております。やはり、ライオンズ活動は楽しく・可笑しく・ポジティブな環境でなくてはならないと感じています。



高知北LCアンパンマン(石像)をはりまや橋に

ご存知、高知が生んだ漫画家「やなせたかし」さんのアンパンマン(石像)を30周年記念に、はりまや橋交差点の東西に設置し、高知市に寄贈。今期も35周年を迎え、中央公園と、はりまや町にアンパンマン像が座るベンチを計4基寄贈。微力ながら高知市の活性化を願っています。



高知桜LC「土曜夜市」での資金作り

活動資金不足に悩むクラブ。底力を出してのチケット作りから商品発注、搬入、販売、片付けと大変!でも、後から後からと続く買い手!これぞ市民参加の奉仕資金作りです。

他クラブも来て下さり「こりゃア凄い!」って。始めてから5年目。見事なチームワークの迫力で歳を忘れる會員も。



「帯屋町通り」

高知とさみずきLC

《一人の思いをみんなの思いに》

毎年開催するチャリティ大バザールでは、LC以外のボランティアたちとも交流、小児糖尿病の子どもたちとのクリスマス会ではそのご家族とも交流を持っています。一つの活動から次へ次へと繋ぎ、広げる。LQPに基づいた活動が当クラブの目指す所です。



須崎LC骨髄ドナー登録がんばってます!

献血と併せたドナー登録会を毎月行い、この約一年間で25名の登録ができました。胸を張るには少ないかもしれませんが、対象となる54歳以下が少ない当地では、がんばった方だと思えます。説明員の有資格会員も、又川会長以下計4名に増強でき、これからは頑張っていきたいと意気盛んです。

- ・2018年12月5名
- ・2019年2月12名
- ・2月3名
- ・5月7名
- ・6月1名
- ・9月3名
- ・11月5名
- ・12月1名



土佐LC出席連絡班を活かして!

私達は、総勢50名のクラブです。円滑に例会出席人数を把握する為、班編成を取っています。7、8名の構成で7つに分け、班長は2ヶ月毎に交替し、全員に班長の当番が回るようにしています。例会着席も班単位、出席率70%以上の班には、出席委員会よりアワードが贈られます。この班編成は、アクティビティへの取り組みの時に活用し、会員同士のコミュニケーションシヨンやクラブの活性化にも役立っていると思えます。





We Serve

から公園の管理を委託され、年に数回、中高生のボランティア、商工会婦人部と共に植樹等もしています。



竹内明太郎の異母兄弟になる吉田茂他、宿毛は沢山の歴史的人物を輩出しており、誇りに思います。



全校生徒が10人に満たない他校の飾り付けを手伝う様は頼もしく、「来年もやるぞ!」の思いにさせてくれます。



これが「おきやくの鷹城」のDNAとして受け継がれている所以なのだと思ふ。



土佐清水LC主なアクティビティ——
低学年少年野球大会を実施し、監督、子供達からは、とても喜んでもらっています。現在チーム数が減少している為、地域を拡大し、なんとか継続しています。

宿毛LC小松LCとの意外な関係
宿毛市出身の偉人、竹内明太郎は、石川県小松市にある小松製作所の創立者であるご縁などから平成10年に石川県の小松LCと姉妹提携が結ばれ、以後5年毎の周年記念式典にはそれぞれが訪問し合い交流を深めています。

大方LCこの笑顔をいつまでも!
2019年6月29日、土佐くろしお鉄道の土佐入野駅と土佐佐賀駅で子供達が書いた短冊を飾り付けました。6回目ですが、飾り付けに参加する子供達の数が増えました。自分達が書いた短冊を自分で飾り付けて、おもてなしの心を実感してもらっています。

7Region

新旧役員交替例会で新三役が余興を披露するのが恒例。寸劇や漫談、笑点など三役自らが工夫を凝らし、体を張って、会員を楽しませるのだ。今期の井上会長は水戸黄門のパロディ寸劇を披露した。

高知鷹城LCおきやくの鷹城——

伊野LC「出前落語」の奉仕活動——
青少年育成事業として、4年前から「出前落語」の奉仕活動に取り組んでいます。落語クラブがある小学校に依頼して、介護施設で「出前落語」を実施しています。子供さんと接する機会のない入所者さんは大変喜んでおり、又落語クラブ員は、人前で落語することにより成長しています。



佐川越知LC定年の年齢からの入会・自己開発
20年前に入会。それまでの仕事と全く違った業種の会員との交流や、姉妹クラブ・友好クラブとの絆、6R・2Zでの合同家族会等で、新たな自分の発見に驚き、それまでの組織や制約に縛られず、自由な発想に触れるチャンス、自らの考えの多様化に多方面から恵まれ活動しています。



中土佐LCクラブの家族例会
鯉のタタキで有名な中土佐町は、県有数の観光地です。町の指針として『一人暮らしは増えても一人ぼっちはいない』ことを実践している。
当クラブも会員同志は強い結びつきがあり、家族例会等では、夫婦・子供・孫は勿論、会員の所属団体の職員を添い大宴会となる。良き町民性のライオンズであり続けたく思います。



四万十LC元気が一番! 例会ラジオ体操
年々メンバーの高齢化に伴い、運動不足、体調不良が気になる方が増えて来ています。その改善の為に、「例会ラジオ体操」を実施、少しずつではありますが、体も軽く雰囲気も明るくなってきています。
これから健康的な山登りなどに挑戦して、元気な体を目指してWe Serve!!



室戸LC 15人のチャーター・メンバーで――

1967年(昭和42年)鷹城LCスポンサーの元設立。1974年、戦争末期に室戸岬東日沖港沖で魚雷により沈没した高知大阪航路の滋賀丸の石碑建立。翌年には少年ソフトボール大会開催、今年で44回目。最近では移動例会を開催、本年は髙原町での楽しい一日となった。



本年の移動例会(会員15名会員外15名) 髙原に関係ある偉人像の前で

土佐香南LC

第33回年末餅つき奉仕 市内15文教福祉施設で 平成元年(第13代クラブ会長 池内美龜生)から始まった地区内21文教福祉施設の年末餅つきは、我がクラブの基奉仕事業です。今年度は、園児数の減少に伴い15ヶ所で実施。奉仕糯米167kg、金額6万円、参加会員数70人、奉仕時間171時間。



写真 12日の吉川みどり保育所

高知鏡川LC

3LC合同第6回復興支援チャリティコンサート開催 令和元年11月22日(金)18時30分、土佐神社の境内に於きまして、高知よさこいLC、高知とさみずきLCと3クラブ合同で開催。ここ数年、自然の猛威は各地で甚大な被害をもたらしています。ボランティア出演の人気アーティストから元気がでる歌声を届けてもらい、感謝の気持ちでいっぱい。今後も被災者の心に寄り添いながら、支援を続けて参ります。



高知黒潮LC 自慢の事務局員さん!

勤続十年による経験に基づいた見識は素晴らしく、色とりどりで個性豊かなクラブ員の意見を取りまとめる「要」でございます。いつも明るい笑顔を絶やさず、各種アクティビティや例会・理事会・委員会等の諸会合の準備を対応してくれ、スムーズな運営を陰で支えています。誰にも代えがたい存在、それは「事務局員さん」クラブの宝です。



土佐山田LC おらがクラブ自慢――

香美市と米国ラゴ市とはLCの縁で姉妹提携を結んで50年になる。メンバーが5名と市民17名でラゴを訪問し、全員がホームステイする接待を受けた。紋付き袴で詩吟を披露しLC国際会長の感謝状とピンを戴いた事は大変誇らしく思える。又55周年式典を催したが、姉妹クラブの台湾安南LCの訪問を受けた。国際交流が続いている。



土佐本山LC 頑張つてウィ・サーブ――

クラブの環境は四国のだ真ん中で、戦国時代・土佐の中原を制した本山城址や、四国の水瓶といわれる早明浦ダムがあり、吉野川の上流で、山紫水明だ。クラブは、1967年(昭和42年)に誕生



「わが国のクラブ設立順位1,176番」。全クラブ数は約3,000で、姉妹は2,000組もある。頑張つてウィ・サーブ。

高知南LC 現状――

結成27年目、チャーター・メンバー11名が在籍し、ここ2年で新会員、支部会員等7名の新しい仲間が増えました。会員の中にはLCIFに354回献金され世界的に名を刻まれている方がおります。又、北海道から鹿児島まで21クラブが南友好会を結成し会員同士の交流を行っています。



高知よさこいLC

高知市中央地区身体障害者大運動会の支援 高知県民体育館で第40回目を開催。毎年継続事業として、支援金の贈呈・賞品・アイスクリームなどを提供。約100名の選手の方々が参加、競技の補助も行っている。毎年皆さんから感謝とお礼の言葉を頂き、会員も楽しい時間を過ごしている。2019年10月27日(日)



8Region

徳島LCアットホームなクリスマス忘年家族会
 毎年12月24日は、ゲストやご家族も一緒にクリスマス忘年家族会を開催。
 今年はクリスマス曲のピアノ演奏や、子供さんは折り紙の紙風船を飛ばしたり、全員参加のゲーム等で盛り上がりました。
 最後は「きよしこの夜」を合唱し宴を閉じました。また来年お会いできますようご挨拶をして。



高知桂LC「かぐや姫の会」
 毎年4月、筍堀と料理を楽しむ「かぐや姫の会」を開催。メンバー所有の正蓮寺山頂の別荘と山を自由に散策、筍堀や山菜採りをします。会長、幹事、計画委員長を中心に昼過ぎから買出しや筍堀を行い、夜にはメンバーと家族が集まり、とれたて筍やおいしいワイン、ステーキを味わい眺める高知市街の夜景を満喫する。非日常を共有し親睦を深めています。

小松島LC鮎つかみ取り大会(かき氷無料配布)
 7月28日(日)に、小松島市の勝浦川で鮎のつかみ取り大会が、開催され市内小学生ら約300人が参加されました。
 熱中症予防の為、かき氷を無料配布しました。かき氷作りも4回目となり上達して、配布しました。親子で鮎とかき氷を楽しんでもらいました。



高知中央LC当クラブの特徴
 新年例会で、最高齢の竹内修会員は満100歳となり、内閣総理大臣の感謝状を披露。2月第一例会の3LC合同例会での賀寿のお祝いでも、卒寿1名、米寿3名、傘寿3名、古稀3名が続いています。13名の60歳未満会員にとって、豊饒とした先輩との交流は、正に「人生の先達」自分もかくありたいと学び、他では得られない経験となつていきます。



阿南LC平成最後の家族会
 平成31年4月14日(日)淡路島北淡の淡路鳥クラブトサーカス・昼食、ハロキティースマイル、のじまスコラを見学し、オーシャンテラスにて夕食。あいにくの曇りで海に沈む夕日を観ることが出来ませんでした。ライオン20名、家族会員4名、家族8名、計32名の参加者と楽しく交流ができました。



高知安芸LC「生け花教室」への講師派遣
 この度、安芸市の井ノ口小学校の授業参観日に行われた5年生特別授業「生け花教室」へ昨年5月に続いて講師を派遣しました。
 この日の模様は、早速NHKで四国全域に放映されるなどクラブ自身の広報活動にも繋がることができました。
 今後とも地域の子供たちとともに楽しんでいける活動を続けていきたいと思つています。



阿波勝浦LC伝統文化継承しめ縄教室体験学習
 12月23日、恒例の勝浦中学校全校生徒21名と教職員によるしめ縄つくり教室を実施しました。
 4名の指導者の模範演技としめ縄の意味を説明して作業にかかりました。
 1年生はぎこちない手つきで、上級生は慣れた手つきで見事な出来栄の子もいました。



高知りょうまLCクラブ杯第15回 高知県少年柔道大会
 高知りょうまライオンズクラブ杯第15回高知県少年柔道大会が高知県立武道館で開催。本年は170名近い選手が参加、4面の畳の上でいずれ劣らぬ熱戦が繰り広げられた。
 独特の緊張感と活気、まだ体の小さい低学年生から大人顔負けの体格の高学年生まで、皆懸命に試合に挑む姿は熱いものを運んでくれた。



徳島マリンクラブ「書初め」

日頃は筆を持たない人でも、この大きさの半紙に挑戦したくなりますよね。毎年地元(の四国大学文学部書道学科の生徒さんにその年に似合った二文字を書いていただいています。その「書には心の現れ」と言われ、徳島グランヴィリオホテルに1年間展示されています。



徳島すだちLC 地元出身のJリーガーと学ぶ

私たちは青少年健全育成事業にも注力している。今年1月2日、地元出身のJリーガーとサッカー少年との出会いの場を提供した。サッカーをやっている子どもたちにとって、Jリーガーはやはり憧れだ。その姿を身近に感じる企画は、夢を実現するための努力のカタチを知る機会提供の場となった。



徳島中央LC

【会員維持】呑みニケーションで円滑にクラブの一大事は呑みニケーションの場で決まる、という訳ではないが、役員選出などの重要な場面では、呑みニケーションで培われた信頼関係が物をいう。飲兵衛はもちろん女性や下戸も加わり、ワイワイ、ガヤガヤと語り合う呑みニケーションは、我がクラブの潤滑油となり、会員維持の一助となっている。



石井LC「石井町ボランティアフェスティバル」

2019.10.20
日頃ボランティア活動を実践している人々が集い「こども文化祭・美術展」を開催。石井LCも台風19号被災者等への災害義援金の募金箱を設置・パザーこども用くじ引き・薬物乱用防止啓発チラシ等配布・児童生徒写生大会入賞作品の展示も行い、未来を担う地域の子供達を地域で大切に育みたいという願いを込め実施。大勢の人々で賑わった。



徳島城山LC 受け継がれて43年、清掃活動

毎月第3日曜日の朝は、結成以来43年に渡る継続事業の清掃活動にクラブの仲間が集まります。場所は、市民の憩いの場、徳島中央公園弁天池周辺。クラブのスローガンである『汗を流すライオン・勉強するライオン・仲良くするライオン』がこの事業には凝縮されています。皆が笑顔でワイ・サーブ!!



上板LC 魔法の巾着袋・懇話会の指定席

毎回実施の例会懇話会。古参も新参もない、席は全てクジ引きで決定。1番クジを引いた会員は乾杯の音頭取り&ドネーション。4人掛けのテーブルに飲んべえが集まれば、下戸テーブルからビールの差し入れが…。メンバーの組み合わせが毎回変わるから、意思の疎通が高速アップ!!



徳島吉野川LC 国際支援事業(カンボジア支援)

当クラブは徳島県内初の男女混合クラブとして1991年に発足。多くのアクティビティを実施してきた中でも重きを置いて継続しているカンボジア支援は、まだポルトの影響があった時期から行っています。現地へは複数回訪問、その際には、会員はじめ、県庁や地元企業様などのご協力を頂き、文房具やスポーツ用品、楽器などを持って行きました。たくさんの子供たちが集まり、支援品を喜んで頂きました。激しい貧困のカンボジアの子供達の喜ぶ顔を見て、この支援の意義を深く感じました。



土成LC 道の駅となり、国道318号線の清掃

結成以来、環境美化活動として、月1回、清掃活動を行っています。道の駅では、除草や雑草の刈取り、アジサイの剪定や落葉拾いを行い、国道では、待避所や路肩に不法投棄された空き缶やペットボトル等のゴミ回収を手分けして実施。チームワークの良さが一番の自慢です。





We Serve

子供達の笑顔に出会えるアクティビティ
 今年5月に開催される児童養護施設阿波
 国慈恵院様のお祭りに参加し、お手伝いを
 させて頂いています。朝早くからたくさん
 の地域の方々が訪
 れ、5時間ほどの
 限られた時間では
 ありますが、子ど
 もたちの笑顔や歓
 声が見聞きできる、
 私たちにとっても
 楽しく、学びとな
 る有意義な時間を
 過ごすことができ
 る奉仕活動です。



徳島やまももLC

子供達の笑顔に出会えるアクティビティ
 今年5月に開催される児童養護施設阿波
 国慈恵院様のお祭りに参加し、お手伝いを
 させて頂いています。朝早くからたくさん
 の地域の方々が訪
 れ、5時間ほどの
 限られた時間では
 ありますが、子ど
 もたちの笑顔や歓
 声が見聞きできる、
 私たちにとっても
 楽しく、学びとな
 る有意義な時間を
 過ごすことができ
 る奉仕活動です。



9Region

徳島眉山LC 来期60周年を迎えます

徳島においては2番目の歴史を持つお
 り、伝統があります。その伝統に恥じない
 ように各個人は自覚をもってライオンズ
 ならぬ行事に対応しております。
 眉山の登録者は31名、少数ではありますが
 が一致団結
 して、一枚
 岩で前進し
 て行こうと、
 会長として
 の方針でも
 あり3役を
 中心に前向
 きに進んで
 おります。



松茂徳島空港LC旧吉野川の清掃活動

2004年から、旧吉野川の清掃活動
 を行っています。国土交通省の河川アドプト
 事業に登録して年間5、6回程度、日曜日
 の早朝6時30分
 から1時間ほど清
 掃し、その後モ
 ーニング例会を
 開催。
 家族同伴で参
 加する会員もい
 て楽しい例会と
 なっています。
 ごみの処分は町
 が回収処分して
 くれます。



鳴門LC 鳴門は阿波踊りでウィ・サーブ!

毎年8月10日に「鳴門市阿波踊り大会」に
 「鳴門ライオンズクラブ連」として参加し、
 姉妹クラブである福島県会津若松鶴城LC
 富山県富山昭和LCも参加して、さらに近
 隣のLCや地元小学生チームと合同で盛り
 上がっています。こ
 の時薬物乱用防止キ
 ャンペーンも実施し
 ております。



鳴門西LCお土産創生による地域活性化事業

『坂東は♡ランド計画』を企画し、創生し
 たお土産は、第九煎餅、博愛パン、トート
 バッグ、Tシャツです!その製造を複数の
 障がい者施設に委託し、販売は地域の道の
 駅でお願いし、得た利益を毎年、地域の学
 校に寄付しています!



藍住LC 結成50周年

昨年5月に結成50周年。総合文化ホール
 が竣工するに当たり前庭広場に時計塔とベ
 ンチを寄贈。
 町の特色は、かつては阿波藍の生産地
 であり豊かな藍づくりや人形浄瑠璃はじめ文
 化が起こりました。そして藍文化はいま国
 際的になりつ
 つあり、昨年、
 フランスに派
 遣され藍染体
 験や販売を行
 った会員がい
 ます。今後益
 々、藍文化の
 発展も進めた
 い藍住です。



北島LC 会員増強と若返りを目指して

5年前に北島レ
 オクラブ結成に成
 功し、親クラブと
 共に例会参加は勿
 論、様々なアクテ
 イビティにも積極
 的活動。若い発想
 力や行動力に良い
 刺激を貰っていま
 す。
 また今期はライ
 オンズ8名、レオ
 9名が新入会、平
 均年齢もレオを含
 めると50・28歳と
 若い団体に生まれ
 変わりました。



阿波池田LC さぎ草を育てることの意義

毎年2月のアクティビティは地元小学生とさぎ草球根の植え付け。さぎ草を育てる経験を通じ、児童達には地球上の生物の歴史に興味を持ち、自然や生き物が好きになってほしいと願っています。

作業の後、児童達と給食を共にし、このダサいライオンズのおジサン達も社会の中で育てられ、こうして歳をとってこられたのだから、皆さんは自信を持って大人になってネと伝えました。



鴨島LC バーベキューで楽しい例会

毎年、バラの季節に会員の庭園でバーベキュー例会を実施。徳島藍、阿波、脇、土成の4LCからも参加。その他、たくさんのお友達は60名を越える。おいしいバーベキューを楽しむ。今回は、西日本豪雨災害救済への募金をお願いしました。徳島藍LC山島委員から「おいしいお肉、素晴らしいバラの花と楽しい演奏を大変喜んでくれました」と参加の感想報告がありました。



阿波LC 例会で楽しく脳の活性化!

忘年会や新年会、花見例会、納涼例会など、家族例会としてゲームなど実施、今回の忘年会では魚釣りゲーム、けん玉チャレンジ、2択クイズで豪華景品ゲット! 高齢化してきている会員の脳活性化、コミュニケーションを図っている。いつもの例会と違う大興奮で日頃見ない姿を拝見できます。



神山LC 神山ライオンズ賞の贈呈

神山町の子供たちのうち、諸活動の実績が顕著なるものを讃え励ますことにより、心豊かな人間育成に貢献しようと、1995年から実施し、27回目を迎えます。なお、昨年度は個人10名、1団体に表彰状と記念品を贈呈。今年度も多数の表彰ができることを願っています。



徳島藍LC 心を一つにウィ・サーブ

令和元年、私達のLCは、シルバーアニバーサリーを迎えました。おもてなしの心を大切にし、出席していただいた皆様に楽しさと、思い出に残る周年行事にしたい。こうと、会員が一つになって頑張りました。他LCの応援も頂きながら、周年行事は大成功! ホテルの方にも、これ程のタイムスケジュールと息の合った私達の一挙一動は感嘆に値すると称賛の言葉を頂きました。



徳島南LC 献血キャンペーン配布奉仕

毎年、年間3回の徳島駅前献血キャンペーンを開催予定しています。以前と比べ、ピラを受け取ってくださる方が協力的になり、採血者が増えてきました。下期は3月6月に開催します。駅前を歩く人の数は減りましたが、今後も家族会員を含めたクラブ会員が力を合わせて献血を呼びかけたいきます。



「クラブ自慢」への寄稿ありがとうございました

限られた文字数で我がクラブを自画自賛せよとの無茶振り...にもかかわらず124クラブの寄稿に感謝申し上げます。

自クラブの良さ、オモシロさに気づかなかったのか、一次締切りでは93LCの寄稿。MC地区委員の声がけで2週間後には31LC追加。MC地区委員のサポートにお礼を申し上げます。

感心すること、楽しいこと、テレビのワイドショーを見る感じです。どうぞ他クラブの「いいこと」を見つけて、自クラブ活性化のスパイスに活用してください。

- おことわり(ライオンズ日本語版参考)
今回の寄稿文に「アクト」の表記が数クラブありましたが、アクティビティ(活動)を「奉仕活動」と訳しているため「アクティビティ」に統一させていただきましたのでご容赦ください。
※アクトは(行動)で、ライオンズ用語として存在しないようです。

- おわび
約8割の原稿が文字数オーバーのため、やむをえずクラブ名や奉仕名など重複部分の割愛とつめ字によって調整。どうかご理解、ご容赦ください。

地区誌編集委員長 宗像 陽明



We Serve

四国は一つ

令和元年12月7日(土)宇和ライオンズクラブ結成60周年記念式典が宇和文化会館にて盛会に執り行われしました。多数のご来賓及びブラザークラブの皆様方のご臨席を賜り心より感謝申し上げます。

記念事業としましては、各施設からの要望を伺い、①新設された西予市図書交流館(まなびあん)へ「車椅子」と「ブックカート」の寄贈。②知的障がい者施設「宇和ひまわりの郷」

及び就労継続支援B型事業所「つくる」へ液晶テレビとDVDプレイヤーの寄贈。③宇和美術協会学童展支援事業。④ライオンズクエスト支援金事業を行い関係者各位から多くの喜びの声を頂きました。

式典においては、15年前の45周年事業「おイネさんウォーク」に中学生として長崎から卯之町までを歩くという事業に参加し、故郷宇和に勤務している矢野加奈子様「文化が結ぶ未来への道」のタイトルで記念講演をしていただきました。彼女が奉仕事業で受けた体験と感動、そして宇和LCへあらためての感謝の言葉に、会員一同奉仕の大切さとその



60周年

3R-1Z 宇和ライオンズクラブ

西予市宇和文化会館
●12月7日(土)
会長 和田 誉

更なるWe Serve! 決意新たに。

One for all! All for one!
一人はみんなの為に、みんなは一人のために! 昨年、日本中を熱くしたラグビー日本代表の言葉は、私達藍ライオンズクラブのメンバーに向けて発信されたような気持ちで、記念式典に挑みました。

1994年11月、徳島で唯一の女

性クラブとして国際協会より認証され、ここに25周年を迎える事が出来た事は、会員一同の熱い思いが一つになった証だと思っています。仕事をもち、家庭があり、様々な所で活動している私達にとって決して、楽な事ではなかったと思います。時間を有意義に使い、会員全員のスキルをフルに発揮し、何よりもご出席頂いた皆様に楽しんで頂く事を一番に考え、手作りで出来る事は、会員が心をこめて作りあげました。シナリオ、名札、女性フォーラムのプレゼン

ト:ets。書きだしたらきりがない程です。チームが一つになり、記念大会も盛況のうちに終わりました。笑顔に始まり笑顔に終わった素晴らしい式典は、私達の大きな財産であり、次への大きな目標へとつながったと思います。



25周年

9R-2Z 徳島藍ライオンズクラブ

ホテルクレメント徳島
●11月24日(日)
会長 松本 みづる

チャーターナイト25周年
記念大会を終えて

10周年

●12月15日(日) 阿波観光ホテル
会長 武久良史

10周年記念式典を終えて

12月15日、11時より高岡地区ガバナーをはじめとするご来賓、スポンサークラブ、ブラザークラブの皆様のご臨席を賜り、阿波観光ホテルにて当クラブ10周年記念式典とアットホームな祝賀会を開催させて頂きました。

記念事業としては、徳島市生涯福祉センターふれあい健康館様に、案内モニター1台と車椅子2台を贈

呈させて頂きました。

当クラブは、故・武久一郎国際理事がガバナー就任時に徳島城山スポーツセンター様のお力添えの下2009年10月に結成しました。以後、「We Serve(我々は奉仕する)」の精神を忘れず、「汗を流して奉仕する」をクラブのモットーに地域のみなさまと共に社会奉仕活動に取り組んでまいりました。

結成当時の平均年齢は30歳台で、徳島で最も若いクラブの一つでありましたが、残念ながらメンバーシップを十分に果たせず、平均年齢もそのまま10歳増えてしまいました。会

員の多くが50歳台を迎え、社会的にも責任ある立場となり公私とも忙しくしておりますが、それでも時間をやりくりしてライオンズの奉仕活動に積極的に参加してくれています。

10周年を迎えても、結成時の精神を忘れずに、会員全員力を合わせ、汗を流して奉仕する活動を続けてまいります。

60周年

●1月25日(水) 料苑たる井
会長 亀田 雅史

結成60周年を無事終えて

2020年1月25日、大洲ライオンズクラブ結成60周年記念式典を料苑たる井にて無事終えることが出来ました。

一昨年、大洲市は肱川水系の大規模な洪水により未曾有の被害を受けました。少しでも大洲市の復興の役に立ちたいと思い、60周年記念事業の一つとして、大きな被害を受けた、大洲市立図書館および肱川分館のために、図書および図書消毒機器一式を寄贈いたしました。また、20

10年に50周年記念事業として新調した大洲少年少女合唱団の制服が古くなったため、60周年事業として新調のための支援金を再度贈呈しました。

今回の60周年記念式は会員が一つとなり、記念事業の企画、式典の進行、祝宴のアトラクション、記念ゴルフ大会と担当委員会を立ち上げ、また記念誌も記念誌委員会を中心に原稿依頼、編集、印刷、製本とすべて会員の手作りで作成しました。

祝宴も盛り上がり、大洲LCらしいまさにワンチームで成功させた式典になったと自負しております。この60年の歩みの中で諸先輩方の築いてきた活動、またブラザークラブや

地域の皆様のご友情とご支援に心より感謝いたします。





We Serve

本来ならば3月7日に開催予定しておりました結成30周年記念例会は、新型コロナウイルスが拡散している状況を受け延期としました。
さて、我が川之江中央ライオンズクラブは1991年4月、川之江ライオンズクラブのスポンサーにより結成されました。以来、地域に密着した社会奉仕を念頭に様々な奉仕活動に熱心に取り組み、中でも幼児から小学生が参加する「選抜少年柔道

大会」は今年で第20回目を迎え、四国四県・岡山県・兵庫県と35チーム、234名が参加致しました。
又、小学6年生、中学生を対象に「薬物乱用防止教室」は今年で6年目になり、更に昨年の11月には愛媛県から感謝状を頂くこととなりました。
そして30周年記念事業では昨年8月に完成しました「しこちゅーホール(四国中央市市民文化ホール)」にパネルスタンドを寄贈致しました。
会員数が少ないクラブではありますが、これからの「We Serve」の精神で一致団結し、奉仕活動を通じて地域社会へ貢献していきたいと思えます。

30周年
2R-3Z **川之江中央ライオンズクラブ**
●2月7日(土)の記念例会は延期
会長 三好正俊

結成30周年を迎え

30周年
9R-1Z **北島ライオンズクラブ**
●2月23日(日) ホテルクレメント徳島
会長 一宮昭夫

結成30周年記念式典

令和2年2月23日に北島ライオンズクラブ結成30周年、北島レオクラブ結成5周年の記念式典を開催いたしました。
今期、我がクラブはレオクラブを含め17名の新入会者が新たに加わり平均年齢も50歳と若返りにも成功し、4つの記念事業を盛大に終える事が出来ました。内容といたしまして、昨年9月に『第23回チャリティ少年

少女柔道大会』を開催し、募金額約7万円を県の障がい者スポーツ振興へ全額寄付を行いました。また同月に『チャリティファンラン』を開催し、募金額33万円をキャビネットを通してライオンズクラブ国際協会に全額寄付を行いました。
11月には竹内昌彦先生講演会を北島中学校にて、自らの失明体験を通じてこれまでの経験や障がい者の自立を訴える『命の授業』を行いました。12月には北島町へ『中学生の海外派遣事業の協力金』として10万円の寄付を行いました。
我がクラブは今後も既存の在り方

ではなく次世代のライオンズクラブの方向性を追求し、模索しながら新しい事にチャレンジする取り組みを行っていく所存です。今後とも尚一層のご指導、ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。



4R合同街頭パレードやむなく延期

思いあらたに「夢はつづく」4RC 藤川佳代(高松空港)

4Rでは8月の献血推進研修会で骨髄移植、ドナー休暇制度の大切さ、また若年層のがん治療の副作用による不妊になることもある「妊孕性温存」が自由診療のため、経済的、精神的負担の重さを学び、小児がん治療における輸血の役割の大きさを学ぶ。そこでFWTの外貨を日本円に替える小児がん支援の活動に注目し、「人が人を助けなければ」を合言葉に4Rとして取組み「外貨回収封筒」と「ドナー休暇制度導入」書面と「妊孕性保険適用」の署名用紙をクラブ会長に配布、全クラブから重い封筒が返って来ました。4Rの愛の重さもあって外貨はあまりに重く、二度に分けてキャビネットへ届けました。皆が幸せになれる事を願っています。

それは10月中旬のこと、GST委員から「RC、大変です。GSTコーデイナーが、ノンライオンに糖尿病予防講座をリジョン単位で開きなさい。しかも今月中に計画を出せ。と無茶苦茶言うてます」との電話がありました。慌てて緊急臨時リジョン会を開くも、そんな出来事でしょう。からはじまり、チラシを配って、糖尿病予防を訴えようか。そのチラシはどうするん？ 県や市にもらおう。県や市のチラシでは、ライオンズとは誰も気が付かんやん。うーん。4R合同ですんやけん、クラブ負担を少しお願いして、ライオンズのチラシを作ろう。そんな声が飛び交う中、ほんなら、パレードしたらどうやろうか。そんだったら4Rの横断幕があったらええなあ。よっしゃ！ 県警音楽隊に協力してもらおう、僕がお願いに行ってくる。一気にテンションが上がりました。やろう、やろう！ 見てくれる人がライオンズに興味持ってくれたらいいね。なにこれ！ 楽しいやん！ もうこの勢いは止まりませんでした。ここにライオンズあり！ どの顔も、誇りに満ち輝いていました。

GSTコーデイナーの無茶振り提案から「第1回4R合同パレード」が誕生したわけですから、GSTコーデイナーに改めてお礼を言うべきです。

こうして4Rは、L字の誇りを胸に力強く走り出した。その向こうに虹が見えると信じて：さあ、それからはパレードの話に花が咲き、これは、祭りや、祭りや。成功させようで。ライオンズのええPRになるなあ。みんなでやろうで。わしも足が痛いんやけど、歩くけん。実行委員会を立ち上げ



皆で役割分担した。4Rからは誰一人、反対意見はなく、皆が協力し合いました。有難いことです。念願だった4R横断幕も、入会のおすすめパンフレットも作成。知事と高松市長や高岡地区ガバナリーにもご臨席頂き、高松市の目抜き通りの商店街を、警察の協力で県警音楽隊を先頭になんと、3つの交差点を、青信号ノンストップで行進する大胆な概要がまとまりました。ライオンズの活動を一人でも多くの市民の皆様を知って頂く事の意義を意識しながら、パレードの第一目的のため関係機関からは「交通安全」「薬物乱用防止」「ドナー登録」の横断幕を計12枚お借りしました。そしてアイバンク・児童虐待防止・糖尿病予防・ヘアードネーションなどのチラシを1,000部作成。

しかし3月8日のパレード目前になって「新型コロナウイルス」の報道が毎日、伝えられる状況に、私の心はパレード実施か延期かの葛藤が続き、ついに5月2日に延期、今は無理との決断に至りました。役所で借りた横断幕を一旦お返しに行った時、職員さんから「ライオンズさんの活動にいつも助けられています、大変だろうけどパレードは絶対にして下さいね、応援しますよ」と、励ましのお言葉をかけて頂き、嬉しさと、張り詰めていた緊張の糸が切れ、人目も憚らず涙があふれました。クルマに戻ると、宗像地区誌編集委員長から電話が入りました。「4Rのパレード紹介ページは空けておくので、今の思いを寄せてほしい：中止じゃなく延期だから、頑張ってください」と優しい声かけに、またポロポロ：でした。

たくさんの方々の方々の応援と暖かい見守り、何より、全面的にサポートしてくれる地区役員・委員、4Rの皆様感謝の気持ちでいっぱいです。今回は延期になりましたが、4Rが力を合わせた取組みによって生まれた絆の輪が太く大きくなった事は間違いありません。奉仕の道のりは厳しいかもしれませんがいつも楽しく、こころに笑顔忘れずに頑張りますよ。

何はともあれ、今はコロナウイルスが1日も早く終息して元の社会活動に戻り、私たちライオンズ活動も平常通り行える日が早く来ることを心から願いたいと思います。

※4R街頭パレードは残念ながら4月中旬に中止になりましたが、新たな合同アクティビティを計画中です。

ライオンズ的「学問のススメ」

二〇二〇年完結編

Salamatsaio (サラマツ サイヨ)

平成27年秋、ふとしたきっかけで愛媛大学・法文学部を受験することになり、社会人A〇試験に挑戦しました。発表は出張先の東京で確認しましたが、受験のことを家族にも伝えてなかったため、急いで電話すると合格の書留通知がすでに自宅に届いていました。

入学式を「家族席」で見学し、招集日の大学で「平成28年度入学」の学生証を受領し、自由で自己責任の学生生活が始まりました。この年の社会人学生は2人で、周りは18歳の高校卒業の新生で、逆に緊張しました。指導教官は東南アジア史が専門の、菅谷成子教授で以後2年間新入学生としてご指導を頂くことになりました。愛媛大学では最高齢に属する学生でしたので指導にご苦労があったと感謝しております。

講義は多岐にわたって行われ1回生の必修科目は、「新入生セミナーA・B」、「こころと健康」、「愛媛学」等があり、社会人学生としては何を今更という感じの内容でした。困ったのは、100人超の学生での受講ですが、3〜4名のグループでのディスカッションがあり、そのたびに任意のグループを作る為、18歳学生の仲間にか入れて貰うのが大変でした。ただ大変と感じていたのは此方だけで、学生達は、怖いもの見たさの興味で結構親切にしてくれました。

卒業に必要な単位は125単位で、個人的には4回生・前期（7月迄）で規定の単位（卒業論文以外）を取得できました。卒業要件単位には、科目群ごとに基準単位が決められており、各科目群を規定数取得し、更に卒業論文に合格することが最終要件で、これは社会人・一般学生とも同じ条件で、社会人に対する付度は全くありません。

2回生後期からゼミナール（課題演習）が始まり、民法関連の研究題目を自分で選択し、その題目に従って2・5年間の研究が始まります。ゼミの指導教官は、民法の家族法関連が専門の羽月章准教授でした。



愛媛大学キャンパスにて——

地区キャビネット幹事 澤田有馬

(1R・2Z松山西)

作？の研究成果でした。

ライオンズクラブの夜間例会は、授業の関係で早退・遅刻で遅れ、業務出張は例会日を外し、授業の始まる前に帰れるように時間調整を行いました。仕事が忙しいことは例会欠席の理由にはならないと感じました。

大変な4年間でしたが、総てがそうでは無く楽しいことも多く、面白い講義・役立つ？講義も多く、見た目ほど苦しいものではありませんでした。またゼミでは歓迎・学期末・追い出しコンパ等があり、この時だけは主役で「支払い係」を担当していました。

総ての偉大なるライオンの皆さん、毎日少しの時間と続ける気力、少しの努力があれば、楽しい4年間が待っています。ライオンズ的「学問のススメ」にぜひ参加してください。

2020年2月5日（水曜日）最後の授業が終わり、4年間の学生生活の総てが終了しました。

表題の「Salamatsaio」はフィリピン語で「ありがとう」です。総ての愛媛大学の関係者に、同級生に、迷惑をかけたライオンズクラブの皆さんに、家族にこの4年間を深く感謝いたします。

ライオンズクラブ国際協会336・A地区

第66回地区年次大会 準備奮戦記

地区年次大会委員長 大川 耕三(松山中央)

昨年8月5日に第1回地区年次大会委員会を開いてから早7ヶ月が経ち、もうそこまで大会が迫ってまいりました。準備期間もなくいきなりのスタートだったので戸惑いましたが、5人の統括副委員長さん、17人の大会副委員長さん、越智事務局長さん・菅野さん、三國さんの協力をいただき当初の遅れを取り戻し、何とか2月20日の最終登録締め切りにこぎつけることができました。

最終登録の中間集計では登録者数が目標に届かず慌てましたが、その後各地区ゾーン・チェアパーソンの皆様のご協力をいただき、大会参加登録者は目標を上回り1,864人が、ゴルフ参加者は381人の皆様に登録いただく事ができました。

各地区ゾーン・チェアパーソンの皆様とお話ししていますと、大会プログラムの魅力、ガバナー懇親会の楽しみや道後温泉など松山大会に対する期待の大きさをひしひしと感じ、あらためて責任の重さを実感した次第です。ご協力いただいた全ての皆様に感謝申し上げます。

しかし大会直前になって新型コロナウイルスが全国に広がり、韓国代表団の来日は取り止めとなり「日韓親善国際交流の夕べ」も中止になるなど、大会自体の大幅規模縮小が避けられず、各方面との調整や実施する場合のマスクやアルコール消毒液の確保などに走り回っている状態で悩ましい日々が続いています。本誌が発行される頃には大会内容・スケジュールが確定しているものと思いますが、代議員の皆様、会員の皆様にとって最良の選択ができるよう渾身の力を振り絞っている今日この頃です…。

(2020年3月15日)

追記 指名選挙のみ

リジョンごとの実施にしました

●新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため愛媛県民文化会館などの行事は全て取りやめになりました。(3月23日)

—— 年次大会は336-A地区・複合地区・シンガポール世界大会 すべて中止に ——

いま、世界中で新型コロナウイルスの感染拡大防止に関わる全ての方々に感謝とエールを贈るとともに、私たちライオンズクラブも世界の仲間と共に一日も早い終息に向かって協力、努力…耐えましょう。

そして We Serveの集い…また会う日まで どうぞお健やかに。

(2020.4.12日) MC・ライオンズ情報・地区誌・大会参加委員会

物 故 会 員

謹んでお悔やみ申し上げます

- ①氏名・享年
- ②所属LC
- ③入会年月日
- ④没年月日



①山本 忠邦 (94歳)
②7R-3Z 高知桂LC
③1964年12月18日
④2019年10月30日



①中川 三代子 (77歳)
②8R-1Z 阿南LC
③2017年9月1日
④2019年12月3日



①河野 隆男 (84歳)
②5R-1Z 坂出LC
③1973年2月1日
④2019年12月9日



①庵原 稔 (82歳)
②4R-3Z 志度LC
③1989年10月16日
④2019年12月13日



①福永 博基 (68歳)
②9R-1Z 北島LC
③1992年2月1日
④2019年12月24日



①依岡 敏彦 (87歳)
②7R-1Z 高知鏡川LC
③1978年12月16日
④2019年12月22日



①三橋 徹 (72歳)
②8R-2Z 土成LC
③2010年7月1日
④2019年12月28日



①岩佐 一誠 (93歳)
②4R-4Z 高松紫雲LC
③1970年5月13日
④2019年12月29日



①正木 文男 (72歳)
②9R-2Z 阿波LC
③2004年1月22日
④2020年1月3日



①上谷 素槻 (64歳)
②2R-2Z 今治くろしまLC
③2001年7月27日
④2020年1月14日



①空保 謹司 (81歳)
②8R-2Z 上板LC
③1998年8月1日
④2020年1月29日



①岡田 宜明 (84歳)
②5R-1Z 丸亀LC
③1984年8月1日
④2020年1月31日



①久米 穂積 (88歳)
②4R-2Z 高松東LC
③1968年12月24日
④2020年2月18日



①小西 康之 (86歳)
②3R-3Z 南宇和LC
③1966年9月18日
④2020年3月18日



①徳増 達史 (67歳)
②2R-4Z 西条LC
③1995年2月1日
④2020年3月23日

●2019年10月30日
～2020年3月23日まで

編集後記

3号の原稿依頼は12月はじめ、メインのクラブ自慢もMC委員の協力で2月10日に揃い作業開始、順調でした。

しかし124LCの寄稿内容を拝見し、文字数オーバーの調整と写真のトリミングで予定のスペースに押込む的なレイアウトは寄稿者の思いに添えていないと考え、1ページ10クラブの予定を8クラブにサイズ変更。写真もタテ、ヨコあり、ワンパターンにせず、それぞれの写真に合わせたレイアウトに変更しました。ただ文字数オーバーは調整せざるを得ず、重複部分などを割愛させていただきましたことご理解ご容赦ください。

2月下旬、世界中が新型コロナウイルス感染拡大防止対策で地区誌編集作業も日々刻々と変更の対応に追われ、ゴールが見えないまま区切りを付ける状況になりました。データ1完成が1ヵ月遅れ、加えてこの状況下、印刷・配送・そして例会の中止が続く今、皆様のお手元へは……ただひたすら新型コロナウイルスの収まることを願ひ、平常の日々が戻ることを祈るばかりです。(4月19日)



新型コロナウィルスの脅威は人種も国境もないことを思い知る……イラストはライオンズの国を越えたWe Serveにヒントを得た作品です。僥越ですが世界は一つの思いを込めての紹介をお許しください。

地区誌編集委員長 宗像 陽明



ライオンズクラブ国際協会336複合地区

第66回 年次大会 高知大会

中四国・土佐のおきやくで 心はひとつ



※高知県では親類や友人、お客さんを招いて宴会をすることを「おきやく」といいます。

ライオンズクラブ国際協会336複合地区 第66回年次大会

大会議長 橋本 充好

大会委員長 酒井 陽典



2020年 5月23日 土

■ 記念ゴルフ大会 Kochi黒潮カントリークラブ

受付 7:00 スタート 7:30

■ 前夜祭

会場 三翠園

受付 18:00 祝宴 18:30~20:30

2020年 5月24日 日

■ 代議員分科会 代議員総会 式典

会場 高知県立県民文化ホール 三翠園

登録受け付け 8:00~ 8:40 (代議員受付)

8:30~11:00 (一般登録受付)

代議員分科会 9:00~ 9:45 (第一分科会)(第二分科会)
(第三分科会)

代議員総会 10:00~11:00

大会式典 11:15~12:45



新型コロナ感染防止
のため「高知大会」は
中止になりました



「第103回シンガポール国際大会も中止になりました」

2020年6月26日(金)~6月30日(火)



We Serve

四国は一つ

■地区ガバナー・スローガン 「We Serve (ウィ・サーブ)」

■キーワード 「真心」

ライオンズクラブ国際協会336-A地区
2019-2020年度 松山キャビネット事務局
〒790-0066 松山市宮田町188-8-209
Tel 089-909-5233 Fax 089-909-5234
E-mail matsuyama2019@lci336a.org

地区誌 四国 1・2・3月
2020.第109号

発行日 令和2年3月31日

発行所 336-A地区 松山キャビネット事務局

発行人 高岡 英治

編集 MC・ライオンズ情報・地区誌・大会参加委員会

印刷 東洋オフプリント(有)